

生き生き TUMA つま

災害は忘れた頃にやってくる 大きな犠牲の中に知らされる命の尊さ

〈広島の土砂災害から学ぶ〉

広島で起きた大雨による土砂災害。一瞬にして家族も家も失い、言葉では言い表せない悲しみや苦しみを、私たちにも知らされた。

「天の底が抜けたような雨。雷も腹の底に響くような音で、今まで聞いたことがない」朝日新聞に掲載された京都府福知山市の男性の、恐怖の一語を振り返ったコメントである。また、丹波市市島町における災害など、広島での悲惨な出来事以来、もう他人事とは言われない近頃の気象状況である。こんなに突然に命を奪われてはたまらない。自分はもちろん、子どもや家族の命を守るためにどんなことができるのか。

私たちの防災意識は大丈夫?

そこで、生き生きTUMA役員会では、西脇市の岸本防災課長を招いて、西脇市の災害についての現状等を聞く会をもった。

その中で今私たち津万地域が急いで取り組まなくてはならないことは、危険個所の把握とそれに対する防災への取り組み。そしていざという時の助け合いである。

だれ一人として命を失うことがないように。



〈自主防災組織〉

あいさつを交わす地域・避難する時の協力体制・いざという時に動ける役割分担・炊き出しの組織化・災害時協力井戸(洗浄水)

〈水路を汚さない〉

普段からペットボトルやごみ等で流れる水を妨げない。



西脇小学校の木造校舎の今後

昭和9年、10年、11年と、昭和初頭の西脇の繁栄を象徴する建造物として新築された。輸入した米松が、まっすぐに大きな建物を支えている。12年には、落成式が華々しく実施され、当時の新聞が人々の喜びを伝えている。

昭和初期の面影を色濃く残し、「尖塔の塔」や「人間の条件」のロゴに使われた。また、2008年には、県の景観形成重要建造物に指定された。しかし、約80年の歳月があちこちに傷みを生じさせ、使いにくい校舎となった。さらに、耐震基準が厳しくなり、早急に対応が求められることになった。

2013年3月に、西脇小学校木造校舎基本計画検討委員会が発足。いろいろな角度からの検討を経て、「建て替え」という結論が出た。しかし、検討途中からも、耐震補強しての保存をという声が挙がり、市長が再検討を指示。そこで、2014年3月新たな検討委員会を組織し、再度校舎のあり方を検討することとなった。委員長には神戸大名誉教授の足立裕司先生、副委員長には東京大学大学院の腰原幹雄先生、いずれも木造建築のエキスパートの先生方である。地域の代表者や学校関係者だけでなく、公募委員も含めて、さらに多方面

まだまだ意識化していくべきではないことはたくさんあるが、生命を守る取り組みに早すぎることはないように思われる。

地震災害に備え

—坂 本—

『ため池ハザードマップ作成ワークショップ』

東日本大震災の時は、海からの津波と同時に山側からの池の決壊による水でも多くの家や命が奪われた。将来近いうちに起こるであろうと言われている東南海大地震に備え、坂本でも命を守るためにワークショップが住民参加で行われた。

今回は西林寺付近や交流グランドに隣接する池の決壊時に、どのようにして避難し命を守るかを、グループに分かれ話し合った。



一番は決壊しないようにすることではあるが、もしもの時に備え避難経路や避難場所の確認をしっかりとすること。また、堤防は即決壊はしないで、割れた所から徐々に水が溢れてくるとも考えられる。そこで、落ち着いて避難することが大切であること。さらにみんなの命が助かるために

は、隣近所の協力が必要であることなども理解できた。

このワークショップは、お互いの考え方や、意見を尊重しながら、自由に話し合え、人任せではなく、それぞれが自分の問題としてとらえられた会であった。

からの検討が進んでいる。その中で、木造校舎の長短について、以下のような点が考えられた。

良いところ

- ・歴史のある建物である。
- ・木造の温かみがある。
- ・地域のシンボル的な存在である。
- ・建物のデザインに特徴がある。
- ・思い出の校舎である。
- ・山並みと校舎建物が調和している。
- ・気遣いの気持ちが育つ。

良くないところ

- ・災害に対して不安がある。
- ・水回りやトイレの設備が不十分。
- ・車いでの移動がしにくい。
- ・夏は暑く、冬は寒い。
- ・音が大きく響く。
- ・不審者対策に不安。
- ・新しい教育に対応しにくい。



あなたは、どう思いますか。あなたの家族のご意見はいかがですか。

10月末で、5回目の検討委員会が開催されたという。西脇小学校校区に住む者として、どうすることが最善なのかを真剣に考えたい。そして、検討委員会で真に子どものための議論がなされているか、注目していただきたい。

みんなでラジオ体操を

下戸田のさわやかな朝への誘いを紹介します。



7月1日から8月31日の間、日曜日及び祝日を除く毎日、朝7時より下戸田の公園グランドにて行っているラジオ体操を取材してきました。

みなさんに対する呼びかけは

- 朝の散歩をしているあなた、7:00にグランドに合流しませんか
- 毎日仕事をしているあなた、もっと元気が出るかも
- 体を動かすことの少ないあなた、みんなとやってみませんか
- 足腰に不安を感じているあなた、みんなとなら続けられます
- 体が重く感じているあなた、少しは楽になるかもしれません



**健康は自分の力でつかむものです
毎日はしんどいけど、続けましょう**

本年は雨天で実施できなかった日が6日あったが、46日実施することができた。参加延べ人数は1,930人、1日平均にすると42人になる。（子どもたちの参加も含まれている）



朝のさわやかな時に、3分間のラジオ体操で体を動かし、すがすがしい気分にさせてくれる。こんな取り組みがこれからも広がればいいですね。来年多くのみなさんの参加を期待しましょう。

お知らせ1

生き生きTUMA講演会

来なきや損する
旭堂南海さんの名調子

「播州針TUMAから世界へ」

とき 平成26年11月6日(木)

19時より

ところ 大野隣保館



お知らせ3 クリーシ作戦

自動車からのポイ捨て。たばこの吸い殻。みんなの周りはどうですか。水路はちゃんと水が流れていますか。みんなで、津万地区をきれいにしましょう。たくさんの方の参加をお願いします。

とき 平成26年12月7日(日) 9時集合

ところ 西林寺子ども広場

見える町づくり

平成26年3月12日(水)に立ち上がった“あじさいクラブ”的活動が進んでいます。



お知らせ2

~津万の歴史散策~

第7回都麻の里 ウォークラリー

とき 平成26年11月9日(日)

受付 8時20分(大野隣保館)

出発 8時45分

大津神社…水車小屋…テラドーム付近…祇園神社…大野隣保館(11時20分)

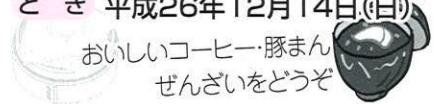
お知らせ4

西脇子午線マラソン

「へその市」喫茶出店

とき 平成26年12月14日(日)

おいしいコーヒー・豚まん
せんざいをどうぞ



お知らせ5 防災訓練

防災図上訓練 救命講習
(内容は検討中)

とき 平成27年2月1日(日)

時間未定

受付 大野隣保館